



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

つながる、ささえる、まもる

ito.



人間を救うのは、人間だ。

山梨赤十字病院 広報誌



病院の基本理念

私達は人道、博愛、公正の赤十字精神に則り、明るく堂々と医療の実践に努めます。

特集

小さな挑戦が、大きな未来を動かす がん患者さんのリハビリテーション

FACE～山梨赤十字病院を支えるヒト～

病院長 鹿間裕介

山梨赤十字病院まるごとガイド

健診センター

インフォメーション

山梨日赤ニュース

Dr.広報ちゃんの健康相談室

スマホでピッ！患者さんとお家族のための病院案内

編集後記

小さな挑戦が、大きな未来を動かす がん患者さんのリハビリテーション



- 1 当院のリハビリスタッフ。がんリハビリテーションに携わるスタッフも年々増加傾向だ。
- 2 当院の機能訓練室の全景。言語聴覚室、作業療法室もある。
- 3 がん患者さんもベッド周りに限らず、エルゴメーター等を用いたリハビリも積極的に行なっている。
- 4 階段昇降によるリハビリの様子。自宅に帰った後のことも考えたリハビリも重要だ。
- 5 がん患者さんを対象にした多職種によるリハビリカンファレンスも定期的実施している。

「あなたの病名は、がんです」――
医師から病名を告げられた瞬間、患者さんとご家族の胸に広がるのは、言葉にならない衝撃と不安、そして恐怖だ。今や日本では、誰もががんと無縁ではいられない時代。二〇一六年、国は「がん対策基本法」を制定し、がんと向き合うための包括的な医療体制の整備に乗り出した。

その中で注目されるのが、「がんのリハビリテーション」。治療の一環として、心と体の回復を支える新たな柱で、当院でも、がんリハビリテーションに力を入れて取り組んでいる。その実際について、リハビリテーション部の担当者に聞いた。

「がんになると、がんそのものによる痛みや疲れやすさ、手足のむくみ、食欲低下などにより今まで通り動けなくなったり、がんの治療（手術、抗がん剤、放射線治療など）の影響を受けて様々な症状が生じたりすることにより身体機能が低下し、日常生活に支障をきたすことがあります。そのため、がん患者に対するリハビリテーション（以下、がんリハ）は、がんと診断された直後から始めることに特徴があります」。

「がんリハは、がん患者のリハビリテーションに関する適切な研修を受講した療法師（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）が医師・看護師・栄養士・社会福祉士等とチームを組み、患者・家族の生活の質の向上を目的に行います。診断を受けた直後から身体機能の低下を予防するために「予防リハ（予防リハビリ）」、治療と並行して身体機能を回復するために「回復リハビリ」、再発や転移の時期に身体機能の維持を図るために「維持リハビリ」、終末期に症状緩和や生活の質の向上を図ることを目的に行われる「緩和リハビリ」に大別され、病期や症状、治療の進行に合わせて一人ひとりに適したプログラム（運動や生活指導等）を実施します」。

「胃がんで余命宣告を受けたある患者さんは『世界1周クルージングに行きたい』という希望を語ってくれました。がんは進行し、手術や化学療法による副作用（発熱や倦怠感）に苦しみながらも歩行練習や有酸素運動などに積極的に取り組んだ結果、日常生活は自立」

「手術から3週間ほどで退院しました。退院後は外来で化学療法を続けていたのですが、ある日突然リハビリ室にお越しになり、『十日間の国内クルージングに行けたよ！』と笑顔で報告してくれました。その後、がんの進行により入退院を繰り返す、余命宣告をされてから1年後にお亡くなりになりましたが『もう後悔はないよ』と生前仰っていました」。

「リハビリというと「身体機能が向上する」「元通りに生活に戻る」というイメージがありますが、がんリハはそういったことだけではありません。患者さんの中には「良くならないのにリハビリを行う意味があるのか」とお話になる方もいますが、リハビリが「再（再び）」＋「ハビ（適する）」を語源とし「再びその人らしく生きることへの適応を支援すること」と捉えるならば、回復が難しい終末期であっても、「その人らしさの追求」を支援することは本来のリハビリの意味に最も近いのではないかと感じています。これからはがんリハチームの一員として患者さんの生活を支える存在でありたいと思います」。（答えてくれた方：理学療法士 堀内海夏太、理学療法士 萱沼達弥）

FACE

～山梨赤十字病院を支えるヒト～



病院長 鹿間 裕介



しかま ゆうすけ/東京都生まれ。1984年昭和大学卒業。1993-1996年米国ウィスコンシン大学免疫アレルギー科留学。2001年昭和医科大学横浜市北部病院勤務、2017年より昭和医科大学藤が丘病院呼吸器内科教授。2025年1月より山梨赤十字病院病院長。趣味はジョギングと読書。

本年1月に山梨赤十字病院の病院長として赴任しました鹿間裕介（しかまゆうすけ）と申します。1984年に昭和大学（現：昭和医科大学）を卒業し、以来40年呼吸器領域の診療・研究に携わってきました。当院は1937年に組合立診療所として設立、1941年に日本赤十字社に移管され（37床）今年で88年を迎える病院です。これまで河口湖町や鳴沢村をはじめ多くの市町村にご援助いただき現在認可病床数264床（HCU 8床、急性期162床、地域包括ケア49床、療養型45床）になっています。この4月に2階、3階の100床の改修工事が終了いたしました。この中には19床の陰圧個室があり新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症に対応できる体制が整っています。

現在、日本は少子高齢化に直面しており当地もその例外ではありません。今後さらに増加する高齢者に対し、急性期から回復期、在宅復帰といった一連の医療（地域包括医療）を行うべく準備を進めております。また富士吉田医師会や近隣の医療施設とも連携を取りながら東部富士五湖地域の医療に貢献していきたいとおもいます。この冊子を通じて当院の診療状況をお知らせするとともに、皆様との情報交換の機会となることを期待して定期的に発刊いたしますので今後とも宜しくお願い申し上げます。

山梨赤十字病院 まるごとガイド

～健診センター～

「健診で異常を指摘された。どこで精密検査を受ければ…」
「色々指摘されて、たくさん診療科を受診しないと…」
「担当医から「健診を受けてください」と言われている…」

こんな不安のある患者さんはいませんか？当院では、健診事業として、一般健康診断、生活習慣病予防健診、人間ドックを実施しています。

当院で健診を受けていただく利点として、以下が挙げられます。

【1】精密検査・治療へのスムーズなアクセス

健診結果が当院の診療記録にも反映されており、内視鏡、CT、MRI等の院内設備を利用した精密検査・治療へのアクセスがスムーズです。

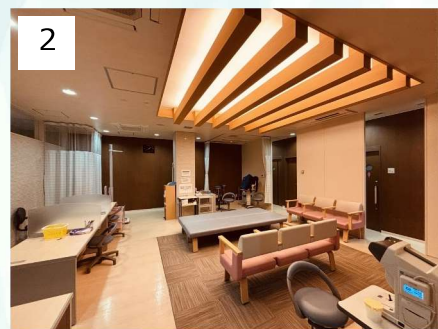
【2】質の高い連携

多数の専門医が在籍。当院対応が困難な場合は他院へ紹介いたします。

【3】救急、急変時の対応が可能

万が一健診時に体調不良等あれば、すぐに対応可能です。

詳しい予約方法等は当院のホームページをご覧ください。



1 健診センター入口。歯科口腔外科の先にある。2 中は明るく、落ち着く空間作りがされている。

インフォメーション



N 山梨日赤
ニュース

富士河口湖まちフェスに参加します

来たる2025年10月5日（日）に富士河口湖町役場前駐車場で開催される「富士河口湖まちフェス2025」に山梨赤十字病院が参加させていただくことになりました。お子さんが参加できる医療体験のコーナーや、肺年齢のチェックができるコーナーも検討中です。多くの方のご来場をお待ちしています。まちフェスの詳細については、富士河口湖町のホームページを参照ください。

富士河口湖
まちフェス

— 大好き！富士河口湖町 —

ご来場をお待ちしています！



富士河口湖町 まちフェス

検索

Dr. 広報ちゃんの

健康相談室



Q. 健康のためには、1日何歩歩けばいいですか？

A. 60歳以上の人は1日6000～8000歩程度を目安にするとよいと報告されています¹⁾。およそ山梨赤十字病院から河口湖駅を往復するくらいの距離です。ただし長時間の歩行で身体への痛みや息切れ等が出る場合は医療機関に相談を。
1) 2022年 Lancet Public Health誌より

スマホでピッ！

患者さんご家族のための病院案内



あなたの主治医は何が専門？
診療科案内



今日××科の担当医は？
外来担当医表



明日はやってる？
休診情報



私たちと一緒に働きませんか？
採用情報



編

集

後

記

この度、広報誌を無事リニューアルすることができました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。新しいタイトルは「つながる、ささえる、まもる ito.（「いと」と読みます）」です。病院が地域に根ざした大切なインフラであること、そして医療従事者だけでなく、患者さんやご家族とつながることによって医療が支えられているという想いを込めました。この誌面を通じて、日々の取り組みや人の思いを、そっと“糸”でつなぎ、お届けできればと思います。今後とも「ito.」をどうぞよろしくお願いいたします（文責：呼吸器内科 福田陽佑）。



日本赤十字社

山梨赤十字病院

発行責任者：鹿間裕介

編集：山梨赤十字病院広報委員会（編集責任者：福田陽佑）

〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663-1

電話 0555-72-2222 FAX 0555-72-6802